



食の未来づくり運動

# トマトの手摘み収穫援農に行ってきました!

## ～貴重な国産加工用トマトの収穫援農～

**主催** トマト倶楽部 **開催** 2024年8月9日～10日 **会場** 長野県 松本市

長野県の契約栽培農家で、手摘みした完熟トマト「愛果(まなか)」を新鮮なうちに絞ったストレートジュース「東都高原夏摘みトマトジュース」。この原料となる加工用トマトの畑を訪問し、摘み取り作業をお手伝いする収穫援農企画を2024年も開催しました。

定員15人に対し、98組222人の申し込みがあり、大人15人、子ども7人が当選。予想を上回る反響で抽選を行っての実施となりました。この企画にこれほど多くの申し込みがあったのは初めてのことです。

今回は子どもの参加も多く、大にぎわいな援農となりました。前日に現地に集合し、翌朝5時から作業開始です。徐々に日差しが強まり猛暑の中での作業となり、汗だくになりながらも一生懸命にトマトの収穫をしました。予定していた畑のトマトは全て収穫でき、余った時間で急ぎよ隣の畑のトマトも収穫するほど順調な援農となりました。

株ナガノトマトのご厚意で、トマトジュースの飲み比べや子ども向けのトマト学習会も実施。とても有意義な活動になりました。



松本市

地に這うように育つ「愛果(まなか)」

自由研究に!



行動目標 1 食料自給率の向上

行動目標 2 日本の農業を元気に

年に一度は、生産者との交流や生産を支援する取り組みに参加しよう

行動目標 3 持続可能な社会に向けて



朝日を浴びて

トマト生産者の皆さんと



収穫直後の「愛果(まなか)」と東都トマトケチャップ、トマトジュース



株ナガノトマトでは毎年、収穫最盛期の8月上旬～9月上旬に収穫したトマトを使用して1年分のトマトジュースを製造しています。国産の加工用トマトを使ったトマトジュースはほかではなかなか飲めない貴重なものです。ていねいに手摘みするトマトの援農体験をぜひ、次はあなたもいかがですか? 現状を学ぶこともでき、家族と一緒に「加工用トマトの自給率」を考えるきっかけにもなり、きっと忘れられない夏の思い出になることでしょう。

※トマト倶楽部：東都生協、株ナガノトマト、オタフクソース(株)(旧ユニオンソース(株))の3者で2009年に設立。交流を通じて組合員と生産者相互の理解を深め、希少な国産加工用トマトの振興に努めています。「東都高原夏摘みトマトジュース」1本利用につき1円を生産者支援募金として、生産に役立つものを毎年農家の皆さんに贈っています。

今月のつばやき

ついこの間お正月を迎えたと思ったら、あっという間に2月の声を聞くようになりました。2月3日は二十四節気のひとつ「立春」春の始まりであり1年の始まりとされる日です。まだ寒い日もあつたりはしますが、そろそろ重いコートを脱いで身も心もリフレッシュしましょう。「2月は逃げる、3月は去る」ぼーっとしてはいられませんね。(Y.K)

お問い合わせ

産地直結ひとすじ。いちばん頼れる生協に。

共同購入事業部 組合員活動推進グループ  
☎03(5374)4756 月曜～金曜日：午前9時～午後4時  
E-mail: kumikatsu@tohto.coop  
〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階

